

2019 年度（2019 年 4 月～2020 年 3 月）研究分担者・小林昭三の研究業績一覧

学会報告・国際会議報告

1. 小林昭三, 近 150 年の物理学筆記から読み解く物理教育の価値ある新実相と新創生, N P O 法人理科カリキュラムを考える会第 20 回全国大会・国立オリンピック記念青少年総合センター, 2019 年 1 月 14 日, 2019 年。
2. 小林昭三, 興治文子, 大石和江, 授業筆記で読み解く科学教育 150 年の歩とその ICT 時代における再創生, 日本物理学会講演概要集, 第 74 巻第 1 号・第 74 回年次大会 (2019 年), p. 3217 (2019), web 版 ISSN2189-0803, 九州大学, 2019 年 3 月。
3. 興治文子, 小林昭三, 大石和江, 五高での明治23年の櫻井房記の物理授業についての考察, 日本物理学会・第74回年次大会, 九州大学, 2019年3月。
4. 小林昭三, 伊藤稔明, 高橋 浩, 興治文子, 生源寺孝浩, 150年を迎えた科学・理科・実業教育の史的新実相を求めて-「理科」誕生期前後の新知見とその現代的再構成, 日本科学史学会第66回年会・総会・研究発表講演要旨集, p. 76 (2019. 5. 26)。
5. 小林昭三, 興治文子, 生源寺孝浩, 大石和江, 授業筆記他で読み解く「科学・理科」教育150年の史の実相とその現代的再構成-櫻井房記M23物理初歩の5高生徒筆記と宇治橋正則M25理科筆記他の考察から, 日本科学史学会第66回年会・総会・研究発表講演要旨集, p. 79 (2019. 5. 26)。
6. 興治文子, 小林昭三, 大石和江, 生源寺孝浩, 近代教育の確立期における物理教育の実態-授業筆記から欧米の科学教育をどう受容したかを探る, 日本科学史学会第66回年会・総会・研究発表講演要旨集, p. 80 (2019. 5. 26)。
7. 生源寺孝浩, 小林昭三, 興治文子宇治橋正則理科筆記に見る明治25年電磁気学習の実態とそのAL型学習への再構成-『小學理科訓導』や現今教科書との対比・考察による電磁気学習の〈のぼりおり〉, 日本科学史学会第66回年会・総会・研究発表講演要旨集, p. 81 (2019. 5. 26)。
8. Akizo Kobayashi and Fumiko Okiharu, Investigations on Historical True Situation of Physics Education by Searching for Students' Notes in Meiji and Modern Reconstruction of Those Valuable Teaching Materials, GIREP-ICPE-EPEC-MPTL 2019 CONFERENCE, Celebration of Eötvös Year 2019 "Teaching-learning contemporary physics, from research to practice" Budapest, Hungary, 1 - 5 July 2019.
9. Fumiko Okiharu and Akizo Kobayashi, A study of characteristics of initial physics education in Japan based on students' notebooks, GIREP-ICPE-EPEC-MPTL 2019, Celebration of Eötvös Year 2019, "Teaching-learning contemporary physics, from research to practice", Budapest, Hungary, 1 - 5 July 2019.
10. 小林昭三, 興治文子, 100-200年前の科学授業記録や授業筆記から読み解く能動的深層学習法, 日本リメディアル教育学会・第15回全国大会発表予稿集, pp. 102-

103(2019), 金沢工業大学, 2019年8月28日。

11. 小林昭三, 授業筆記・記録に基づく100-200年前科学教育史とアクティブ・ラーニング型源流の解明, 2019 年科学教育研究協議会第66 回全国研究大会福岡大会(西南学院大学, 2019年8月9日-11日)・19-02分科会-4物理・小林昭三。
12. 小林昭三, 興治文子, 大石和江, 生源寺孝浩, 授業筆記他で読み解く100-200年前の科学教育の史的実相と現代的再構成, 日本物理学会2019年秋季大会概要集第74巻第2号, p. 2821(2019), web版ISSN2189-0803, 岐阜大学, 2019年9月10-13日(12日講演)。
13. 小林昭三, 興治文子, 100-200年前授業記録で読解く科学教育史・アクティブ・ラーニング型授業再創生、日本理科教育学会(静岡大会)・第69回全国大会発表論文集第17号, p. 131(2019)、2019年9月22日-23日。
14. 小林昭三, 興治文子, 開港150年の物理化学筆記で読解く明治科学教育とその再創生, 日本理科教育学会・北陸地区大会発表要旨集, p. (2019), 新潟大学教育学部・2019年11月9日
15. 小林昭三, 開国150年の科学授業筆記で探る能動学習法深化形成過程と5G-ICT時代的再構成, NPO法人理科カリキュラムを考える会冬季シンポジウム兼・第21回全国大会(2020年1月13-14日)・早稲田大学。
16. 小林昭三, 興治文子, 生源寺孝浩, 開国150年前後の科学授業筆記で探る能動学習法の深化形成過程とそのICT時代的再構成, 日本物理学会2020年春・年次大会, 名古屋大学, 2020年3月16日-19日, 日本物理学会第75回年次大会(2020年)日本物理学会講演概要集, 第75巻第1号第75回年次大会(2020年) Web版ISSN2189-0803, p. 3017(2020)。

論文他

1. 小林昭三, 興治文子, 100-200年前の授業記録や筆記で読み解く科学教育史的新知見とその現代的再構成, 甲南大学岡本キャンパス, 2019年8月6日(火) - 8日(木), 『2019PCC論文集』(CIEC発行), 査読無, pp. 129-132(2019)。
<http://gakkai.univcoop.or.jp/pcc/2019/papers/list/index.html>
 2. 興治文子, 小林昭三, 明治時代の生徒は理科をどう学んだのか ～アクティブ・ラーニング事始め～, 甲南大学岡本キャンパス, 2019年8月6日(火) - 8日(木), 『2019PCC論文集』(CIEC発行), 査読無, pp. 133-135(2019)。
<http://gakkai.univcoop.or.jp/pcc/2019/papers/list/index.html>
 3. (2019年9日-11日, 福岡市西南大学, 2019年自然科学教育の研究と実践-科学教育研究協議会第65研究大会の記録CD版・科学教育研究協議会発行・研究運動部編集DVD, DVDデジタル報告集, 査読無, (2019-10)。
 4. 小林昭三, 伊藤稔明, 高橋浩, 赤羽明, 所澤潤, 玉置豊美, 興治文子, 生源寺孝浩, 大石和江, 北林雅洋, 150 年を迎えた科学・理科・実業教育の史的新実相を求めて -「理科」誕生期前後の新知見とその現代的再構成- 科学史研究(日本科学史学会), 第 58 巻 No. 292, 査読無, pp. 383-392(2020)。
-

5. 小林 昭三，興治文子，開国前後の授業筆記で探る能動学習法の深化形成過程 - 理数工学習データ解明と ICT を活用した再創成を目指して -，CIEC・2020 春季カンファレンス論文集，査読有，キャンパス・イノベーションセンター東京（2020 年 3 月 21-22 日）発行。
-